

2026年3月16日  
NTT東日本株式会社 岩手支店

## 農林水産省「令和7年度農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書」の 取得について ～食とエネルギーの総合産地化プロジェクト～

NTT 東日本株式会社岩手支店(支店長:後藤 高宏、以下「NTT 東日本岩手支店」)は、株式会社岩手銀行(本社:岩手県盛岡市、頭取:岩山 徹、以下「岩手銀行」)および株式会社 JDSC(本社:東京都文京区、代表取締役:加藤 エルテス 聡志/佐藤 飛鳥、以下「JDSC」)と共同で推進してきた「食とエネルギーの総合産地化プロジェクト」において、農林水産省が創設した「令和7年度農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書」を取得しました。

本証明書は、岩手県滝沢市で2025年4月から2025年11月にかけて実施したスマート農業の実証を含む一連の取組が、農山漁村の振興に資する活動として評価されたものです。

### 記

#### 1. 農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書の概要

認定機関	農林水産省
制度名	令和7年度 農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書
制度内容	農山漁村の課題解決に向けた個々の取組が企業等によって行われていることを農林水産省が証明する制度

#### 2. 証明書を取得した取組

取組名	食とエネルギーの総合産地化プロジェクト
実施者	岩手銀行、JDSC、NTT 東日本岩手支店 ※3社共同で取得

#### 3. 取組の背景・概要

(1) 岩手県の一次産業は地域に不可欠な基盤産業である一方、高齢化による従事者減少やコスト上昇等により持続性が脅かされています。一次産業の生産性・収益力の強化および域内循環モデルの構築を目指し、岩手銀行および JDSC と連携して「食とエネルギーの総合産地化プロジェクト」を2024年から進めております。

URL:[20240326\\_01.pdf](#)

(2) 今般、岩手県滝沢市内の圃場をフィールドに、稲作の収量安定・効率化に資する示唆の獲得を目的とし、スマート農業(センサー、水管理デバイス、ドローン等)を活用したデータ取得・分析の実証に取組みました。実証から得られたデータの分析により、生育状況と収量、水温と収量の関係について一定の傾向を把握

しました。また、複数年度による実証により、別圃場・別品種でも再現性が示唆され、知見の一般化可能性が高まりました。協力農家様からは、農作業の意思決定・負担軽減に有効であり、収量が安定するのであれば農家にとって価値がある旨の評価も得ております。

#### 4.今後の取り組みについて

NTT 東日本岩手支店では、今後も地域の様々なパートナーの皆さまと連携しながら、デジタル技術を活用した県内一次産業の振興及び地域課題の解決に取り組んでまいります。